

(2021年度)

## コロナ感染予防のための「講座運営ガイドライン」

文大事務局

受講生の皆様は、新型コロナウイルス感染症の影響下で講座等へ参加されています。残念ですが現在のところ、コロナの収束はみえてきません。感染予防と拡大防止のために、感染から自らの身を守り、自らが周囲の仲間に感染させないよう細心の注意を払い、文大の文化活動の灯をともし続けるためにも、下記のガイドラインを遵守してください。(事務局員も全く同様の対応です)

### <講座運営 ガイドライン>

受講者各位	
①	<b>日頃の健康管理</b> ①. 常日頃の健康状態を管理し「健康管理表」等に記録する。 ②. 毎日の検温、平熱の把握、高熱(平熱より1度以上が目安)の場合は医療機関の受診も。 ③. 体調不良、例えば、激しい咳、呼吸困難、倦怠感、喉の痛み、頭痛、高熱、味覚嗅覚障害、嘔吐、下痢等は必要に応じて医療機関の受診を。
②	<b>感染拡大等の防止</b> ①. 飛沫防止等のためにマスク(やフェイスシールド)着用し、咳エチケットを励行。 ②. 会場入場時等適宜、手洗いや手指先の消毒を励行。 ③. 高熱、咳症状や体調不良者、感染者との濃厚接触者は来場を控え欠席する事。 ④. 長時間のマスク着用になるため熱中症にも注意し、適宜水分の補給。 ⑤. 社会的距離を確保し、3密(密閉・密集・密接)や近接な対面会話等に自らも回避する。 ⑥. 感染リスクを回避するため講座終了後等の懇親会や飲み会は原則禁止します。 ⑦. はからずも感染の疑いある受講者は直ちに大学側(学生部長・又は総務部長へ)報告してください。
講義会場(教場)	
③	<b>中央公民館と志津コミュニティセンターの大ホール、佐倉市民音楽ホール、共通事項</b> ①. 各館施設管理者が設定する施設利用基準を遵守する。 ②. 3密回避や対人距離1~2m、1人当約2.3m <sup>2</sup> を確保し、椅子を配置し机は設置しません。 ③. 館内もマスク着用です。来館者数は100人を目安に管理します。 ④. 感染の疑いのある者やクラスターが発生した場合は講座等は中止する事になります。 ⑤. 講座等では席は演壇に向かって前向きに着席し、受講者間の大声での会話は避ける。 ⑥. 会場へ入場する場合、分散登校、分散入場し3密や人的接触を回避する。 ⑦. 会場入場時、受付で受講者は氏名と受講者番号を告知し、事務局員が出欠管理を行う。 ⑧. 受付にてテーブルに置かれたレジュメや資料等は自ら取得する(受付では手渡さない)。 ⑨. 各会場ともクラス別の指定席制とします。毎回ローテーションを行います。 ⑩. 受講者は持ち物、レジュメや配布物の貸し借りは行わないこと。 ⑪. 講座開始前と途中の休憩時間に会場の換気を行います。 ⑫. 講座終了後は事務局の指示に従い分散して退場する。ゴミ等はすべて持ち帰りのこと。 ⑬. 他の使用団体で感染者が発生する等で会場が閉鎖された場合、講座は中止します。
④	<b>中央公民館と志津コミュニティセンターの大ホールでの遵守事項</b> ①. 受講受付・資料受取り・講義と質疑応答・休憩等すべての行程を大ホール内で行います。 ②. トイレは使用できますが、玄関横のロビーや談話コーナー等は使用できません。 ③. 会場内は水分補給用のペットボトル以外の飲食は禁止です。 ④. 講座終了後、使用した椅子は事務局で消毒した後、当番班が分散して収納場所へ戻す。
⑤	<b>佐倉市民音楽ホールでの遵守事項</b> ①. 本来の使用目的は音楽堂ですが、今回は公開講座会場として特別使用する。 ②. ホワイエ(ロビー)での歓談等は、3密回避や対人距離確保を遵守する。

- ③. 会場側が指定した1階及び2階の客席(指定席)を3密回避で使用する。  
受講生はステージに向かって前方の指定席、一般客は1階の後方席と2階席を使用する。
- ④. 楽屋や練習室は使用できません。楽器や展示物に手を触れない。
- ⑤. ホール内での飲食は禁止です。水分補給用のペットボトル等はホワイエで利用する。
- ⑥. 会場内の換気のため1階の両サイドの扉4面と2階の全扉を常時開放します。

#### 講座運営

- ⑥ ①. 原則として講義時間は90分間、この間に10～15分の休憩時間を加え会場の換気を行う。  
その後15～20分間の質疑応答を標準割り付けとします。質問がない場合は終了とします。
- ②. 質問は多人数でのマイク使い回しを避け3人～5人に限定します。
- ③. 講師が罹患して講演ができず、代理の講師がいない場合は休講とします。
- ④. 休憩時間中の講師への個別質問はご遠慮ください。
- ⑤. クラス別ディスカッションでクラスメンバーの意見交換の場を設けます。年2回大ホール内で3クラスに分散して、概ね1時間、マスク着用し大声を発せず三密回避で進めます。
- ⑥. ゼミ自由研究は、各ゼミ・グループとも利用する公民館会議室等の施設利用基準を遵守する。  
部屋の許容人員を守り、マスク着用、対人距離確保、三密回避で実施する。  
その他の検討会や読書会の会場、史跡等の訪問先でも同様です。  
研究活動中に飲食が必要な場合は、会食場所の運営基準や営業時間を確り遵守する。

以上